

# はまぼうふう vol. 9

2003.4.29.

石狩浜海浜植物保護センター通信

石狩川最下流部のハンノキ林の林床に、ミズバショウの白い包が点々と姿を見せました。こずえには、シジュウカラやハシブトガラが、美しい声でさえずりながら飛び交います。

石狩浜を歩くと、海岸草原をよぎる小さな黒いかげ！！ノビタキです。はるか南の地方から、また、石狩の地へ戻ってきたのです。

おもわず、「おかえりなさい！」また今年も、この浜で私たちに楽しい歌声を聞かせてくださいね。

まもなく石狩の浜に、花と小鳥の楽園が広がります。











マクンベツ湿原のミズバショウ

## 春～初夏、海岸草原の鳥たち

ヒバリ	ノビタキ	コヨシキリ	オオジュリン
 <p>ピーチクピーチクと鳴きながら、垂直に空へまい上がる。</p>	 <p>乳ツ`色の胸が特ちょう。 扱は顔とつばさが黒い。</p>	 <p>全体にうすい茶色でお腹は白。ツツ、ジヨツリ、ツツ、おもしろい鳴き声。</p>	 <p>扱は顔が黒く、つばさは茶。ジツリ、ツツ、ジュリと鳴いている。</p>
ホオアカ	カワラヒワ	ノゴマ	ショウドウツバメ
 <p>名前のとおり、ホオが赤い。ツツ、ツツ、と鳴いている。</p>	 <p>つばさのつけねが黄色。 キリリ、コロロ、と鳴いている。</p>	 <p>オスはのどが赤い。ツツ、ツツ、美声。</p>	 <p>波でけずれた砂丘の断面などに巣をつくる。小さなツバメ。</p>

## 春～初夏、浜の花たち

イヌミ	ハマハダオ	ハマエンドウ	ハマナス	エゾスサユリ	ハマニガナ	ハマビルガオ	ハマボウウツ
 <p>5月</p>	 <p>5月～6月上</p>	 <p>5月下～9月</p>	 <p>5月下～9月</p>	 <p>6月</p>	 <p>6月～9月</p>	 <p>6月～7月</p>	 <p>6月下～7月</p>

## 石狩生きもの日記

石狩浜をフィールドに調査研究されている方々から、浜に生きる生きものたちのさまざまな情報を提供いただいています。今回は、前回に引き続き、市内花川在住の北海道昆虫同好会会員、小林英男さんから、石狩浜の昆虫について、興味深いお話ををご紹介します。

### 石狩浜昆虫ものがたり

今回は石狩浜で得られるクワガタムシについて書いてみました。

クワガタムシの仲間は北海道では7～8種類が生息しているようですが、そのうち半数の4種類のクワガタムシが石狩浜で得られております。クワガタムシの仲間は本来森林性の昆虫であり、昔はよく雑木林等のナラ類やヤナギ類の樹液のしみ出ている所で見られ、子供のころはよくクワガタ獲りをして遊んだ記憶も多いでしょう。しかし、最近はそのような光景もあまり見かけなくなったのは本当に淋しい限りです。

ここ石狩浜では、なんと、海浜に打ち寄せられた流木(朽木)でかなり獲れるのです。ミヤマクワガタ・ノコギリクワガタ・コクワガタ・スジクワガタなどで、特にコクワガタが一番多いようです。スジクワガタは他ではあまり見かけませんが、ここでは確実に得られます。

クワガタムシは今では外国産の大きいもの、珍しいもの、型の変ったものなどがペットショップ等でも売られており、「クワガタブーム」となっております。クワガタムシを多数集めてみると、同じ種類であるにもかかわらず、別種と見誤るくらい個体差が顕著にあらわれます。すなわちコクワガタを例にとってみますと、かなり大きな個体から本来の大きさの半分にも満たない小さなものまで見られるのです。これは幼虫期における食べ物(朽木)とその摂取量に関係があるものと考えられております。いろいろな大きさを並べてみると、その違いが顕著にわかってとても面白い結果が出るものと思います。

石狩浜では成虫よりも幼虫の方が多く見られますので、一度自分で飼育してみるのも面白いでしょう。ただし、コガネムシの仲間の幼虫も同じ所にたくさん得られますので、幼虫の時にクワガタムシの幼虫なのか、コガネムシの幼虫なのか、はっきりとわかりませんから、さなぎ、または成虫になるのを楽しみに飼育してみたら良いでしょう。

やはり、クワガタムシは子どもから大人まで幅広く人気のある、昆虫の王様だといえましょう。



コクワガタ

(石狩市花川在住 小林英男)

### 石狩浜企画展のお知らせ ～浜辺の虫たちの世界～

砂浜、海岸草原、カシワ林と、多様な環境が広がる石狩浜には、さまざまな種類の昆虫がいます。これらの昆虫を標本展示で紹介し、生きもの豊かな石狩浜の自然について理解を深めます。期間中、小林英男さんを講師にお招きして、「体験！浜の昆虫観察と標本づくり」の実習会も開催します。

展示会：期間/8月1日(金)～8月11日(月) 場所/石狩浜海浜植物保護センター展示室 入館料/無料

実習会：「体験！浜の昆虫観察と標本づくり」:

日時/8月2日(土)・10日(土)9時～15時(雨天時室内学習)

場所・集合/石狩浜海浜植物保護センター 対象/小学生～大人(小学校低学年は保護者同伴のこと)

定員/各回10名 参加費/無料

持ち物/捕虫網・虫かご・お弁当・飲み物・ぼうし・タオル

## 北の海辺の風景

「10年前はもっとハマナスが美しかった、最近ハマナスが減ってきたようだ。」こんな声が長年石狩浜の自然を見てきた方々からこぼれています。実際、ハマナスは減っているのでしょうか。

昨年度、海浜植物保護センターでは、平成元年に石狩市が行った海浜地植生調査と同じ箇所に調査区を設置し、14年間で植生がどのように変化したのかを調べました。

調査の結果、石狩浜の海岸草原では、ハマナスが減っているわけではなく、むしろススキの増加が著しく、ハマナスを目立たなくさせている、という状況にあることがわかってきました。

海岸砂丘は、砂の動きが大きい海に近い部分には、砂地に適した海浜植物の天下ですが、海から離れて砂地が安定してくると、内陸性の植物も多く育つようになります。多くの植物が育つと、植物の遺骸が砂の上に積もって養分のある土ができ、砂地に適した植物は生活しにくくなっていきます。また、内陸性の植物との競争に負けてしまいます。

石狩浜でのススキの増加は、ハマナスなど海浜植物の生育に適した砂地環境が内陸性の環境に変化していていることを示しているのでしょうか。今後、ハマナスの株が減っていくのかどうかは、モニタリング（長期観察・追跡調査）していくことでわかっていきます。

ハマナス、ハマエンドウなどが飾る海辺の風景を残していくのか、それとも自然の遷移にまかせておくのか。浜の風景・自然を楽しむみなさんが、考えていかなければならない課題でもあるのです。

（石狩海浜植物保護センター）



ススキ野原となっている秋の海岸草原

### 冬期間活動報告

#### 冬の石狩浜ウォッチング

冬の石狩浜を見たい！という石狩浜夢の木プロジェクト（石狩ふるさと自然塾有志）のメンバーとともに、1月18日、はまなすの丘へ向かいました。雪雲と青空がまだらに行き交う典型的な冬の石狩浜の天候。

堤防の上から石狩川を見ると、カワアイサ、ホオジロガモが小さな群れで水面を行き交っていました。

灯台の下に立つと、一面白銀の原野。ところどころにハマナスの枝先が雪の中からのぞいています。この光景から、ここのハマナスの背の高さは、積もった雪の深によって決まっていることがよくわかります。

あずまや付近の川の中には、小さな氷の孤島……。流れてきたのでしょうか。陸から分かれて行ったのでしょうか。姿を変えた冬のはまなすの丘に、参加者みなから驚きの声があがっていました。



河口に浮かぶ小さな氷の孤島

#### 冬期学習会～他地域から学ぶ、海辺の自然保全～

2月28日（金）10時～12時 石狩市総合保健福祉センターりんくる視聴覚室にて 参加者26名

北海道大学大学院農学研究科園芸緑地学講座助手、松島肇氏をお招きして、各地の海岸保全の取組みと石狩浜での課題についてお話をいただきました。

車の過剰利用の問題はもちろん、利用者の大半を占める札幌市民への意識啓発、情報提供が課題であること、砂丘のあちこちがトイレと化し、汚れてきていることへの対策の必要性などが話題に上がりました。

## 5月～7月の活動予定

## 春の自然観察会

日時：平成 15 年 5 月 24 日（土）  
10 時～12 時 30 分

場所：はまなすの丘（集合：グインターセンター）

内容：北海道野鳥愛護会の方より指導をいただき、野鳥（ヒバリ、ルビ、オジユリ、ノマなど）を観察します。もちろん、海浜植物（イヌシ、ハマザオ、ハマエンドウなど）も！

参加費：無料 定員：なし 参加申込：5/22 まで

## 初夏の石狩浜ハイキング

日時：平成 15 年 6 月 14 日（土） 9 時～15 時 30 分  
集合：石狩市役所（バスで石狩浜へ）

内容：石狩湾新港東埠頭から海浜植物保護センターまで（5km ほど）ハマズやエゾスサリノの咲く石狩砂丘を、自然観察やネイチャーゲーム、簡単クイズなどを楽しみながら、ハイキングします。

参加費：無料 定員：50 名（先着順） 参加申込：6/12 まで  
持ち物：お弁当・飲み物・ぼうし・タオル・お持ちの方は双眼鏡・動きやすい服装

## 募集

海浜植物保護センターの活動を支えるボランティアさんを募集しています。1～4のうち、興味のある分野、得意な分野で、お手伝い、してみませんか。

1. 自然観察会で・・・花や野鳥の記録をしていただける方・指導員のサポートをしていただける方

2. こども自然教室で・・・こどもたちの安全に目を配りながら、一緒に楽しんで参加していただける方

3. 植物調査で・・・浜の自然を奥深く知りたい方。計測、記録などの作業です。（種を同定できなくても OK）

4. 苗作り・移植作業・・・海浜植物の苗づくり、移植作業をやってみたい方

申し込み方法：電話・Fax・Email にて、お名前・ご住所・電話番号・生年月日をお知らせ下さい。

1・2 を希望の方は参加できる行事の日にち（行事予定参照）をお知らせください。

3・4 希望の方は、後日、活動日をお知らせしますので、ご都合に応じてご参加ください。

対象：中学生以上 交通費の支払いはない旨、ご了承ください。

.....

行事への参加申込・お問合せ・通信に関するご意見等は、下記まで。

石狩浜海浜植物保護センター 〒061-3292 石狩市弁天町 48 番 1 tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146

開館期間：4 月 29 日～11 月 3 日 休館日：火曜日（祝日の場合はその翌日） 開館時間：9 時～17 時

email：ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP：http://www4.ocn.ne.jp/~ishi-ham/

## 夏の自然観察会

日時：7 月 13 日（日）9 時～12 時

場所：はまなすの丘（集合：グインターセンター）

内容：ハマウツク・エゾカラサデシロ・ハナショウブなど、花でにぎわうはまなすの丘を散策します。

参加費：無料 定員：なし 参加申込：7/11 まで



## ふるさと海辺シンポジウム

日時：7 月 13 日（日）13 時 30 分～16 時 30 分

場所：石狩温泉番屋の湯研修室

内容：宮城県でハマウツクの保護活動に取り組む名取ハマウツクの会と七ヶ浜ハマウツクの会を迎え、海辺の自然を守る活動について、報告、ディスカッションします。

参加費：無料 誰でもご自由に入退場いただけます。

## ご利用案内

## 海浜植物の苗を植えよう！！（要事前申し込み）

石狩浜にお越しの際には、自然散策とあわせて、海浜植物の苗移植を体験してみませんか。

- ・申し込み先：石狩浜海浜植物保護センター
- ・対象：団体で利用の方（5 名以上）
- ・申し込み方法：電話・ファクス・E mail にて、苗移植希望の日時・人数・代表者の氏名・電話・住所・団体名をお知らせください。
- ・費用：無料
- ・作業時間：15～20 分程度（説明込み）
- ・持ち物は必要ありませんが、作業に適した服装でお越し願います。

